



昭和54年度指定 高指第42号

(故)山本 繁

【雅号】秀峰 しゅうほう

生年／大正7年 指定技術名／銅器・彫金



かびん「かき」

花瓶「柿」

彫金技法のなかでも、打出鋤彫、肉象嵌の技法に卓越した技術を有す。作品は、花瓶に柿と雀が肉出しされているが、雀の瞬間的な動きが巧みに表現されており、葉の返りや柿の膨らみなどに見られるように、優れた造形力で自由自在に鑿を使い表現している。

昭和55年作

素材・技法／青銅・双型鑄造、打出鋤彫、象嵌
寸法／高さ32cm×幅27cm×奥行27cm

〔表彰・受賞歴〕

昭和49年 高岡伝統工芸加工技術振興展奨励賞
(以後、2回)
昭和53年 高岡伝統工芸加工技術振興展最優秀賞
昭和58年 産業資料館に展示作品製作
高岡地域地場産業センターより感謝状

〔経歴〕

昭和 6年 坂田七太郎氏に師事し彫金技術全般を習得
昭和21年 独立自営
昭和50年 高岡彫金組合副組合長
昭和55年 高岡市伝統工芸産業技術保持者指定
昭和57年 高岡彫金組合長
伝統工芸高岡銅器振興協同組合常務理事
昭和58年 伝統工芸士に認定
平成元年 高岡市作品買上 花瓶「嬰鳥武鳥図」